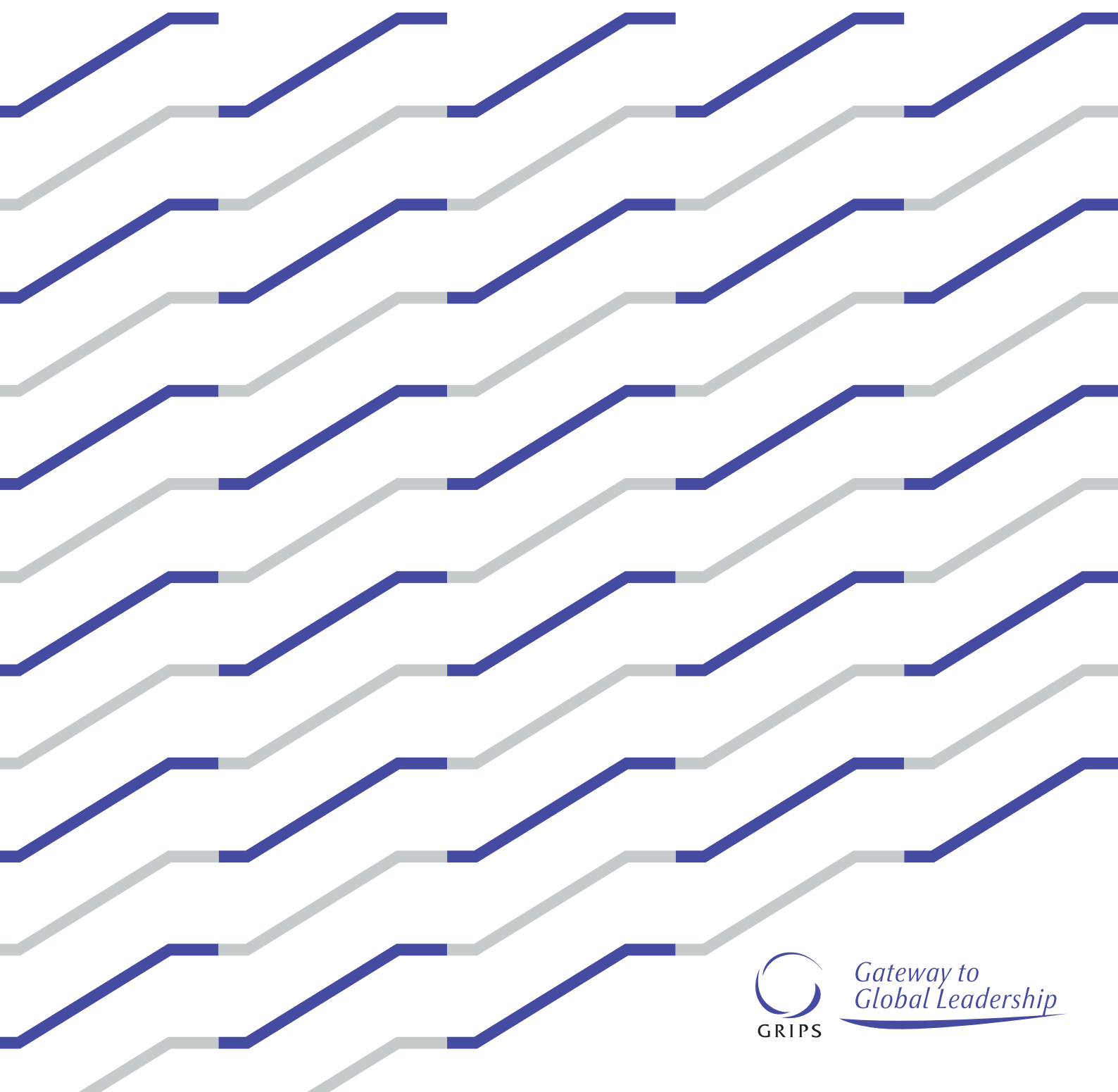


政策研究大学院大学

GRIPS 2023



*Gateway to
Global Leadership*

GRIPSへようこそ

政策研究大学院大学長 大田 弘子

新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻といった事態に直面し、国際社会はかつてないほどの不確実性のなかにあります。経済、安全保障、食糧、人権、地球環境などいずれの政策課題をとっても解決への道は困難を極めており、いまほど根本に立ち返った冷静な対話と議論が求められているときはありません。そのような状況にあって、発展するインド太平洋に位置する成熟した民主主義国家として日本の果たすべき役割は大きく、このことは、日本を代表する政策研究・教育の拠点たる政策研究大学院大学 (National Graduate Institute for Policy Studies: GRIPS) もまた、新たな課題への挑戦が求められていることを意味します。

本学は、1997年に日本初の本格的な政策研究・教育の拠点として誕生しました。創設以来、一貫して日本と世界の現実に即した政策研究を行い、国内外の政府部門で働く行政官をおもな対象として大学院教育を行っています。

新規創業の気質をもち続けていることがGRIPSの特徴であり、従来の大学の枠にとらわれない教育プログラムを開発してきました。なかでも、英語のみで学位を取得できるプログラムを多彩に、かつ数多く設置した結果、学生総数の60%以上を外国人留学生が占めるに至り、世界でも有数の国際色豊かな教育機関となっています。毎年、50を超える国と地域から外国人留学生が集まっており、修了生のネットワークは、すでに120を超える国と地域に広がっています。将来、世界各国の指導者となる者同士がともに学び、切磋琢磨する環境は、日本人学生と留学生の双方にとって、他では得られない貴重なものです。中央官庁や地方自治体、国際機関、企業などから集まる日本人学生を含め、学生すべてがこの絶好の環境を十分に生かせるよう、本学では、英語によるコミュニケーション能力の向上やアカデミック・ライティング習得のための充実したサポート体制を整えています。

GRIPSは、1年で修士号を取得できるプログラムを多数準備しており、学生は1年間に自ら選択する学問分野(経済学、行政学、国際関係論、システム工学、政治学等)で理論や政策分析手法等を学ぶと同時に、学際的に政策課題に取り組むことができます。さらに、2020年度には働きながら就学できる2年制の修士プログラム「国際的指導力育成プログラム」と「科学技術イノベーション政策プログラム」を開設しました。また、各国政府等さまざまな機関からの要請に応じて、短期の研修事業にも積極的に取り組んでいます。

こうした国際的かつ多様な教育活動を可能にしているのは、多くの異なるバックグラウンドをもつ講師陣です。本学では、各分野の一流の研究者に加えて、国際機関や政府の実務経験者を集め、政策研究の基礎と実践的学びの両方を提供しています。さらに、2022年度には科学的な政策研究を発展させることを目的に、根拠とデータに基づく政策立案(EBPM)のための研究・教育拠点として、データサイエンスセンターを設立しました。

近年、政策の担い手は政府や政党にとどまらず、拡大し、多様化してきました。地球環境問題や高齢化問題などの社会課題においては、企業もまた課題解決を担う主体として重要な役割を果たしており、課題解決のために起業をめざす若者もたくさんいます。GRIPSは、これまで持続可能な開発目標(SDGs)達成のための研究・教育に力を注いできましたが、さらにさまざまな社会課題について、本学をハブとした本格的な産学協働、あるいは産官学の協働プロジェクトを進めたいと考えています。その一環として、学生の勉学や研究の成果を現実の社会課題に当てはめ、個別の企業などとともに解決策を探る実践的教育プログラムの試行的取り組みも始めています。

GRIPSは、2022年に創立25周年を迎えました。国際秩序の変化、人口動態や技術革新による社会の変化等に伴い、政策が対象とする領域は拡大し、複雑化しています。それに伴い、政策研究・教育の手法もまた、絶えざる創意工夫が必要です。常に前を向いて進むという気風を持ち、新たな課題に挑戦してきた25年間を礎として、これからも本学の教職員および学生、そして学外のステークホルダーの皆様と手を携えて、政策研究・教育のあるべき姿を模索し、新たな挑戦と創意工夫を重ねてまいります。

大田 弘子



大田 弘子(おおた ひろこ)

1976年一橋大学社会学部卒。1996年埼玉大学大学院政策科学研究科助教授を経て、97年政策研究大学院大学助教授、2001年同教授。2002年に内閣府に出向し、経済財政分析担当の参事官、大臣官房審議官、政策統括官を務める。2005年に大学復帰後、2006年より安倍・福田両内閣で経済財政政策担当大臣。2008年8月大学に復帰、2009～2011年同大学副学長、2019～2022年同特別教授。2022年9月～同学長。専門分野は経済政策・財政政策。

GRIPS沿革

- 1977年** 政策研究大学院大学(GRIPS)の前身、埼玉大学大学院政策科学研究科(GSPS)設立
- 1997年** 政策研究大学院大学(GRIPS)開学
- 1998年** 東京新宿区若松町にキャンパス移転
- 2000年** 最初の修士学位授与
- 2003年** 最初の博士学位授与
- 2004年** 国立大学法人政策研究大学院大学に移行
- 2005年** 東京港区六本木にキャンパス移転
- 2013年** 政策研究院創設
- 2016年** GRIPS基金設立

GRIPS基本データ(2022年5月1日現在)

- 主な入学時期:** 4月または10月
- 授業言語:** 日本語または英語(基本的にどちらの言語の授業も受講することができます)
- 学生数:** 363 修士課程: 254(うち日本人: 115, 留学生: 139)
博士課程: 40(うち日本人: 18, 留学生: 22)
修士課程・博士課程一貫プログラム: 69(うち日本人: 8, 留学生: 61)
- 教職員数:** 313 常勤教員: 69(うち外国教員: 16) 非常勤教員: 121 職員: 123

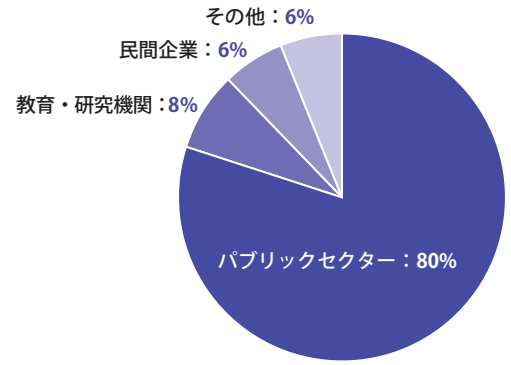


世界各国の政策プロフェッショナルとの出会い

本学の修士課程や博士課程のプログラムには、中央省庁や政府関連機関、全国の地方自治体、民間企業等から派遣されたミッドキャリアの職員等が多く学んでいます。また、全学生の60%以上は、世界50以上の国や地域からの留学生で、自国の政策に携わっている行政官が多数在籍しています。

出身地域や国、文化、話す言葉は異なっても、政策プロフェッショナルとして同じ志を持つ留学生と、同じ教室で同じ問題に取り組む、グローバルな視点から未来を創る政策について考える環境が、本学にはあります。

学生の派遣元 (2021年度修了生)



世界各国からさまざまな分野で活躍する学生が集まる本学で、在学中に培った人的ネットワークは、修了後に貴重な財産となるでしょう。本学の修了生は、前身である埼玉大学大学院政策科学研究科(GSPS)の修了生も含めて、120の国と地域、5,700名以上からなります。

≫ 出身国別修了生数 (2022年5月1日現在)

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----------|-----|----------|-----|---------|-----|----------|-------|----------|----|-------|-----|
| アジア (23の国と地域) | インド | 77 | インドネシア | 558 | 韓国 | 76 | カンボジア | 119 | シンガポール | 10 | スリランカ | 101 |
| | タイ | 202 | 台湾 | 2 | 中国 | 223 | 日本 | 2,024 | ネパール | 91 | パキスタン | 124 |
| | バングラデシュ | 204 | 東ティモール | 3 | フィリピン | 256 | ブータン | 42 | ブルネイ | 4 | ベトナム | 187 |
| | マレーシア | 136 | ミャンマー | 128 | モルディブ | 17 | モンゴル | 80 | ラオス | 47 | | |
| 大洋州 (8カ国) | オーストラリア | 45 | サモア | 1 | ソロモン諸島 | 1 | トンガ | 3 | ニュージーランド | 1 | バヌアツ | 1 |
| | ババニューギニア | 6 | フィジー | 11 | | | | | | | | |
| 北米 (2カ国) | カナダ | 1 | 米国 | 3 | | | | | | | | |
| 中南米 (17カ国) | エクアドル | 7 | エルサルバドル | 25 | キューバ | 1 | グアテマラ | 4 | コスタリカ | 4 | コロンビア | 8 |
| | ジャマイカ | 2 | チリ | 5 | ドミニカ共和国 | 6 | ニカラグア | 16 | ハイチ | 1 | パラグアイ | 4 |
| | ブラジル | 13 | ペネズエラ | 3 | ペルー | 1 | ペルー | 19 | メキシコ | 3 | | |
| 欧州 (NIS諸国含む) (31カ国) | アイスランド | 1 | アゼルバイジャン | 8 | アルバニア | 3 | アルメニア | 2 | イタリア | 2 | ウクライナ | 7 |
| | ウズベキスタン | 108 | オランダ | 3 | カザフスタン | 55 | 北マケドニア | 2 | ギリシャ | 1 | キルギス | 67 |
| | クロアチア | 1 | ジョージア | 13 | スイス | 2 | スペイン | 1 | スロバキア | 7 | セルビア | 2 |
| | タジキスタン | 16 | チェコ | 14 | ドイツ | 5 | トルクメニスタン | 7 | ハンガリー | 15 | フランス | 1 |
| | ブルガリア | 13 | ポーランド | 26 | モルドバ | 2 | ラトビア | 1 | リトアニア | 2 | ルーマニア | 14 |
| | ロシア | 1 | | | | | | | | | | |
| 中東 (7カ国) | アフガニスタン | 13 | イエメン | 2 | イラン | 3 | サウジアラビア | 2 | シリア | 2 | トルコ | 16 |
| | ヨルダン | 1 | | | | | | | | | | |
| アフリカ (32カ国) | アルジェリア | 7 | ウガンダ | 45 | エジプト | 17 | エチオピア | 40 | エリトリア | 2 | ガーナ | 53 |
| | カメルーン | 3 | ギニア | 1 | ケニア | 43 | コートジボワール | 3 | コンゴ民主共和国 | 1 | ザンビア | 31 |
| | シエラレオネ | 8 | ジンバブエ | 30 | スーダン | 3 | ソマリア | 1 | タンザニア | 47 | チュニジア | 1 |
| | ナイジェリア | 4 | ナミビア | 2 | ブルンジ | 1 | ボツワナ | 4 | マダガスカル | 3 | マラウイ | 6 |
| | 南アフリカ | 1 | 南スーダン | 1 | モーリシャス | 5 | モザンビーク | 3 | モロッコ | 1 | リベリア | 3 |
| | ルワンダ | 5 | レソト | 1 | | | | | | | | |

合計：120の国と地域 5,723名 ※埼玉大学大学院政策科学研究科修了生数を含む。

政策研究に関する「知」の集結

東京六本木に独立したキャンパスを置く本学は、政治・行政の中心である永田町・霞が関に近く、現役の行政官や実務家等にとって往来のしやすい場を作っています。学生は講義やセミナー、GRIPSフォーラム等において、

そうした国内外の学界・官界・政界・産業界等各セクターの優れた有識者等の現場の声を聴講することで、政策研究に関する知識をより深めることができます。

多様で層の厚い教授陣

本学の教員は、政策研究に関する国内外の先進的研究者と、官界、国際開発等の分野において高度な資質を有する実務経験者等により構成されており、多様で層の厚い教員組織となっています。

363名の学生に対し、69名の常勤教員に加え、多くの非常勤教員が所属しております。カリキュラムは、講義・演習のほか、ディスカッション形式のもの、少人数のチュートリアル形式のもの等、学生のためにきめ細やかな指導を行っています。



想海樓ホール

プロフェッショナル・コミュニケーションセンター

本学で学ぶ学生および教職員は、多様な交渉相手と生産的なコミュニケーションを行うことが求められます。プロフェッショナル・コミュニケーションセンターでは、そういった場面に必要不可欠なプロフェッショナルとしてのコミュニケーション・スキルと言語運用力の育成を目指します。

そのために、本センターでは、英語と日本語のプロフェッショナル・コミュニケーションの基本分野を網羅した指導と支援を提供します。さらに、自律学習の支援および文化的、学術的交流の機会提供、プロフェッショナル・コミュニケーションに関する幅広いテーマを扱ったセミナーや特別イベントの開催、プロフェッショナルな文書作成と言語学習に取り組む本学の学生や職員に合わせた教材作成など、さまざまなサービスを提供します。



データサイエンスセンター

21世紀に入り、世界は地球温暖化やそれによる自然災害の増加、そして新型コロナウイルス感染症に代表される公衆衛生上の脅威等、これまでにない様々な問題に直面しています。一方で、デジタル革命の進展によりインターネットを通じた種々のビッグデータの利用が可能となりつつあり、データを活用して予測に基づく合理的な意思決定を行うことが、行政が問題を解決していく上で大きな力となります。そのための基盤となる学問がデータ

サイエンスです。本学では、データサイエンス教育と研究の深化推進を目的としてデータサイエンスセンターを2022年4月に設立しました。政策決定の現場に精通した実務経験豊富な行政官専門家とアカデミアの政策科学の研究者を共に擁する本学ならではの、21世紀の行政官養成を目的とする先端的でユニークな政策科学におけるデータサイエンス研究拠点として活動していきます。

国内外の政府関係機関等からの要請に応えた研修プログラム

海外の政府幹部等向け短期研修プログラム

海外の政府関係機関等からの要請に応え、グローバルリーダー育成センターを拠点として、各国の政府幹部等に対してさまざまな研修事業を行っています。COVID-19の影響により来日が困難となった2020年からは、オンラインでの研修も開始しました。オンデマンド講義やオンライン会議システムを活用して、講義や議論の場を提供しています。

▶ 研修テーマと主な対象者

リーダーシップ、公共政策、組織管理、グッド・ガバナンス、地方自治などをテーマに、各国の中央省庁や地方自治体などの行政官を対象に、短期研修を実施しています。

対象国と対象者の事例：

- ベトナム：副大臣級、局次長級幹部、地方幹部
- タイ：局次長クラス公務員、若手幹部候補生、法制委員会幹部・職員
- インドネシア：国家開発計画庁職員、財政・開発監督庁職員
- ラオス：副大臣級
- オーストラリア：政府幹部
- フィリピン：次官級、国会事務局幹部
- バングラデシュ：政府幹部
- マレーシア：政府行政官・大学幹部
- IMFマクロ経済セミナー（JIMS）：アジア諸国の財務省及び中央銀行幹部

国内向け短期研修プログラム

医療政策、農業政策等に関する、国内の喫緊の課題を取り上げ、実務担当者等を対象とした短期集中型の研修を行っています。



修士課程

公共政策プログラム

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

政策分析力、政策構想力を磨き、政策研究の最先端と実務の世界の架け橋となる人材を育成するとともに、複雑化・多様化する政策課題に対し、より総合的な視点から解決策を提示し、対応を図れる人材を育成する。

地域政策コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

地域レベルにおいて、豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を有し、高度のジェネラリストとして自治体の中枢を担うに足る人材を育成する。

文化政策コース 3 4 8

文化的資源を対象とする政策の分析、評価、立案及び実施能力を有する人材を養成する。

インフラ政策コース

1 2 3 6 7 8 9 10 11 13 14 15 16 17

国内外の地域開発政策や社会資本整備に携わる高度な専門家を育成する。

防災・危機管理コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

防災・危機管理に係る総合的な専門知識と政策立案・実践能力を有する人材を育成する。

科学技術イノベーション政策コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

※ 科学技術イノベーション政策プログラムのカリキュラムを履修することができます。

医療政策コース 1 3 5 8 10

医療政策に係る理論・知識や分析手法を修得した上で、医療やその関連分野の政策動向や課題の本質を理解し、総合的かつ実践的な政策展開を図ることが出来る人材を育成する。

農業政策コース 2 8 12

農業を核とする地域活性化のための政策（「農業政策」）に関する専門的知識・技術に加え、政策構想力と行政運営能力を有する人材を養成する。

国際協力コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

地球的規模で持続可能な開発目標 (SDGs) の達成が求められる中、国際開発・国際協力の分野において国内外の様々な立場から指導的役割を果たす人材を養成する。

総合政策コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

多様な政策領域に共通する基礎的な知識・技術に加え、既存の特定課題・分野に捉われず、自ら研究テーマを設定し、その分野に関する専門的知識・技能を習得することにより、より総合的な視点から解決策を提示し、対応を図れる人材を育成する。

科学技術イノベーション政策プログラム

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、実行、評価、修正を行うことができる人材を育成する。

戦略研究プログラム 16 17

安全保障・防衛に関する政策立案・実施を高い専門性をもって担当することのできる実務者を養成する。

国際的指導力育成プログラム

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

国際情勢に通じ、戦略感覚とコミュニケーション能力を備え、政策決定や国際交渉などで優れた指導力を発揮できる人材を育成する。

Young Leaders Program

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

アジアや中欧諸国等のナショナル・リーダーを育成し、日本を含め各国における行政分野のリーダー間ネットワークを構築する。

One-year Master's Program of Public Policy (MP1)

1 2 3 4 5 7 8 9 10 11 12 16 17

政府・国際機関で働くミッド・キャリアの行政官が公共政策を分析・設計する能力や、公共政策を管理・運営していくために必要なスキルを磨くことを目指す。

Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)

1 2 3 4 5 7 8 9 10 11 12 16 17

開発途上国ならびに先進国が直面するさまざまな政策課題に対応できる、高度な政策分析能力、政策立案能力を有し、政策研究の最先端と実務の世界の架け橋となる人材を育成する。

Macroeconomic Policy Program 1 4 8 10

マクロ経済政策の専門家を育成する。

Public Finance Program 1 3 4 5 8 10

開発途上国の租税政策及び関税政策専門家を養成する。

Economics, Planning and Public Policy Program 1 3 4 6 7 8 9 10 17

インドネシアのグッド・ガバナンスと経済発展に貢献する人材を養成する。

Disaster Management Policy Program 9 11 17

開発途上国における防災分野の専門家を養成する。

Maritime Safety and Security Policy Program 14 16 17

海上で発生し得る種々の課題に対して適時・的確に対処できる高度な実務的・応用的知識、分析・提案能力及び国際コミュニケーション能力を有する人材を育成する。

修士・博士課程一貫

Policy Analysis Program

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 15

政策課題を経済学の視点から理論的、実証的に研究・分析できる者を育成する。

博士課程

GRIPS Global Governance Program (G-cube)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

特定分野に専門特化したリーダーたちを束ね、大局的な観点から多様な価値観や利害を調整し、世界の重要課題に対処するLeader of Leadersを養成する。

Disaster Management Program

1 2 3 6 7 9 10 11 13 14 15 17

水災害リスクマネジメント分野において国及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指導し、研究者を育成できる人材を養成する。

科学技術イノベーション政策プログラム

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、実行、評価、修正を行うことができる人材を育成する。

政策プロフェッショナルプログラム

2 4 7 8 9 11 12 13 14 16 17

事例研究の蓄積を通じて、政策の現場と学界の本質的な交流を促進し、高度な実務的専門知識と学問的体系に沿った政策分析能力を有する実務家を養成する。

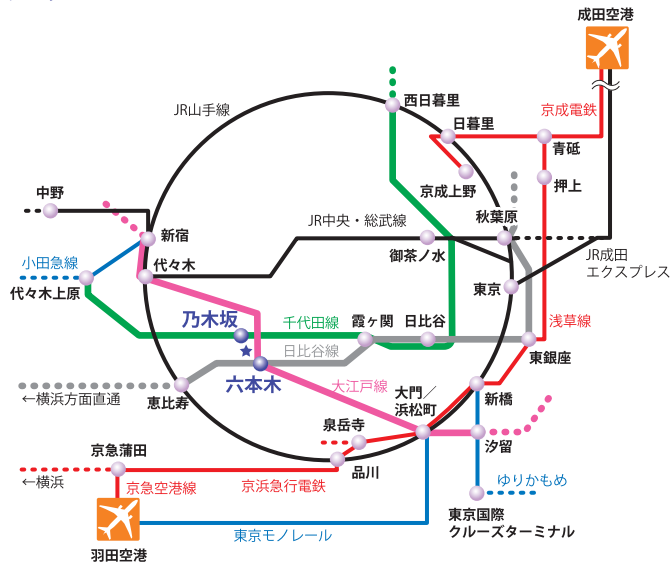
世界を変えるための17の目標



本学の研究教育活動とSDGsの関連はウェブサイト

「知の探求を通じたGRIPSのSDGsへの貢献」をご覧ください。 <https://www.grips.ac.jp/sdgs/>

アクセス



成田空港から成田エクスプレス利用、東京經由六本木まで約1時間30分
 成田空港から成田スカイアクセス利用、日暮里經由六本木まで約1時間15分
 羽田空港から東京モノレール利用、六本木まで約40分
 東京駅から六本木まで約17分

| | | | |
|-----------|------|------|-------|
| 都営大江戸線 | 六本木駅 | 7出口 | 徒歩5分 |
| 東京メトロ日比谷線 | 六本木駅 | 4a出口 | 徒歩10分 |
| 東京メトロ千代田線 | 乃木坂駅 | 5出口 | 徒歩6分 |

国立大学法人政策研究大学院大学

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

TEL : 03-6439-6000 (代表) FAX : 03-6439-6030 (代表) www.grips.ac.jp/

Facebook : www.facebook.com/grips.tokyo/

Twitter : twitter.com/GRIPS_Info

YouTube : www.youtube.com/user/GRIPSIJAPAN

アドミッションズオフィス

admissions@grips.ac.jp

www.grips.ac.jp/jp/admissions/index

発行年月：2022年9月

編集・発行：政策研究大学院大学 企画室広報担当

デザイン・DTP：安藤 聡 (pickles design)

© GRIPS 2022 Printed in Japan